

# 能登半島地震復興支援 第15回 日本少年野球 北國新聞社旗争奪北陸大会



令和6年4月20日(土)、5月6日(月祝)  
予備日 4月21日(日)、5月18日(土)、19日(日)

## 開催球場

金沢学院グリーンフィールドⅢ、城南スタジアム、物見山野球場、  
富山県営新港野球場

- ◆主催 (公財)日本少年野球連盟 北陸支部
- ◆共催 北國新聞社
- ◆後援 (公財)日本少年野球連盟

# J a p a n B o y B a s e b a l l



## 野球をしながら 団結・友愛・規律・勇気・忍耐を 身につけよう

### (公財) 日本少年野球連盟規約 第四条

この法人は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に、正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて、心身の練磨とスポーツマンシップの理解に努め、規律を重んずる明朗な社会人としての基礎を養成し、次代をになう少年の健全育成をはかることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟  
会長 惣田 敏和

# ご挨拶



大会長

(公財)日本少年野球連盟

北陸支部 支部長 山西 祥夫

第15回日本少年野球連盟北國新聞社旗争奪北陸大会を行うにあたり、今年1月1日の元旦に発生した能登半島地震が、この開催に大きな影響をもたらしました。珠洲市を震源地とし、奥能登地区のみならず、北陸支部管内の石川県、富山県に於いて、この大地震が甚大な被害をもたらしました。改めて、被災された選手やご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

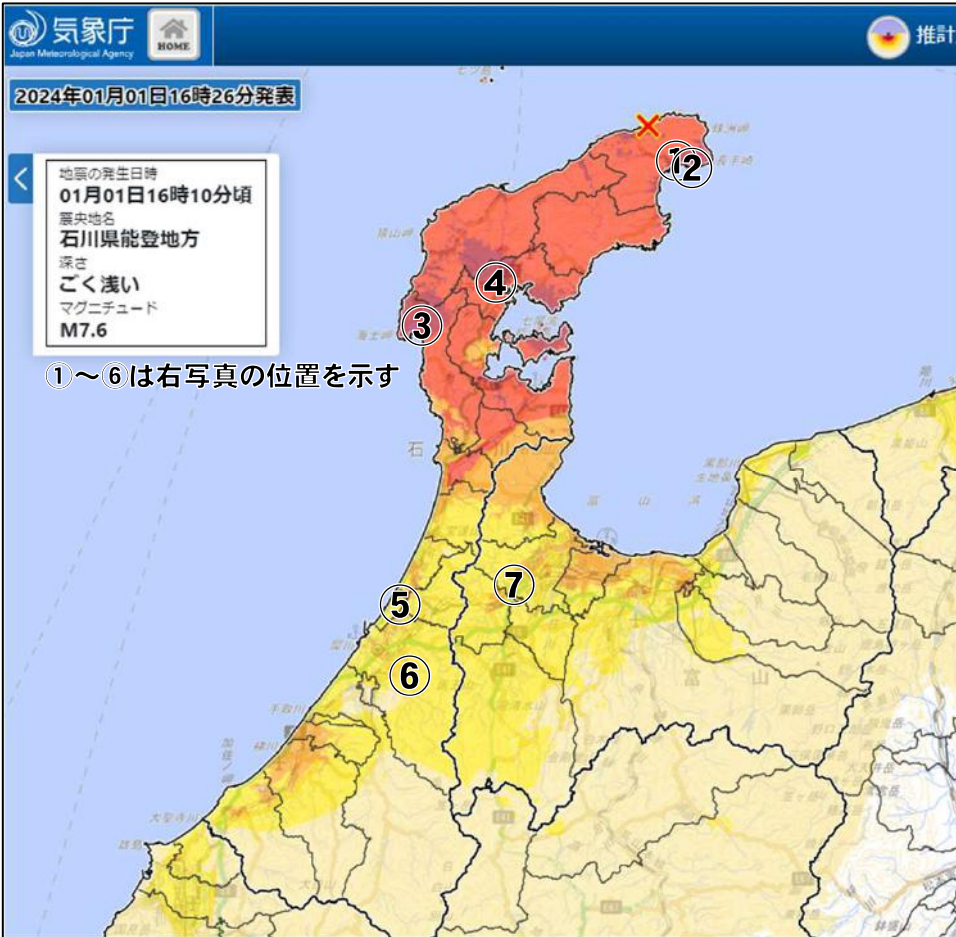
地震発生から4カ月を迎えようとしています。全体が復興へと進んでいく中、わたしたちボーイズリーグもまた、大きな役割を感じております。被災された選手やご家族、ご親族の方々も多いこの北陸支部として、選手が元気いっぱいプレーできるように大人もサポートし、この大会を中止することよりも、形を変えてでも実施することこそ、この北陸の地への支援となり、選手たちの生き生きとしたフェアなプレーこそ、心の支援や力につながる、大きな役割を持っている、と考えております。

今回は未だ、球場や宿泊場所の確保が困難であるため、北陸支部の所属チームのみでの大会とさせていただきます。これまで毎回、他県の支部からも多くのチームにご参加いただいておりますが、事情をお汲み取りいただいただけではなく、各支部の皆様から義援金もお送りいただきました。北陸支部として、また、この北陸の地に暮らす一同の者として、深く感謝申し上げます。お預かりした義援金につきましては、大会開催にあたり、4月15日に窓口の北國新聞社へと寄託してまいりました。

最後になりますが、今大会を開催するにあたり、支部内各チームの皆様にご理解御協力を賜り、深く感謝申し上げます。ますますのご活躍を祈念いたしまして、本大会の挨拶とさせていただきます。



# 2024.1.1 能登半島地震



最大震度5強以上を観測した地震の発生状況

発生時刻	震央地名	マグニチュード	最大震度
2024年01月01日16時06分	石川県能登地方	5.5	5強
2024年01月01日16時10分	石川県能登地方	7.6	7
2024年01月01日16時12分	能登半島沖	5.7	6弱
2024年01月01日16時18分	石川県能登地方	6.1	5強
2024年01月01日16時56分	石川県能登地方	5.8	5強
2024年01月01日18時08分	能登半島沖	5.8	5強

令和6年の新しい幕開けとなった1月1日の夕方。家族や親戚が集い、新年を迎えて団欒の時間を過ごしていたそのとき、石川県・富山県にこの大地震が、何の前触れもなく、突然発生しました。いえ、正しくは、家族全員の携帯電話の不快感アラーム音が一斉にけたたましく鳴った直後での、大きな揺れでした。この時から、余震といえども、震度5以上の地震が何度も、そして何日も続きました。

数日前まで野球やスポーツでにぎわっていたグラウンドは、亀裂が入るほど地面がうなり、日を重ねるにつれ、仮設住宅や物資置き場へとその姿が変わっていき、4か月経ったいまでも、まだそのままだの状態の場所も残っています。

本大会は、私たちができることを元気いっぱい行うことで、私たちがなりの支援を行う大会として、力強く、開催いたします。

# 能登半島地震復興支援 第15回日本少年野球 北國新聞社旗争奪北陸大会 役員

大会名誉会長	北國新聞社社長	砂塚 隆広	顧問	(公財)日本少年野球連盟 名誉会長	藤田 英輝
大会相談役	(公財)日本少年野球連盟 理事 北陸支部担当役員	伊藤 裕章	同	(公財)日本少年野球連盟 会長	惣田 敏和
同	北陸支部相談役	林 茂信	同	(公財)日本少年野球連盟 副会長	堀内 健
同	北陸支部相談役	南山 修一	同	(公財)日本少年野球連盟 副会長	工藤 眞一
同	北陸支部相談役	南藤 陽一	相談役	(公財)日本少年野球連盟 専務理事	大富 肇
大会会長	北陸支部長	山西 祥夫	同	(公財)日本少年野球連盟 常務理事	岡 陽一
大会副委員長	北陸支部長代理	村山 和光	同	(公財)日本少年野球連盟 常務理事	橘高 浩二
大会副委員長	北陸副支部長	井野上 盛光	同	(公財)日本少年野球連盟 理事	松本 行弘
大会会計部長	北陸副支部長・会計部長	定塚 泰良	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	榊原 隆宏
大会運営委員長	北陸支部理事	梅田 英範	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	杉浦 眞一
大会運営副委員長	同	佐々木 昭博	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	藤本 善一
同	同	島 隆之			
同	同	中井 昌人			
同	同	中山 晃一			
同	同	中町 光教	大会審判長	北陸支部審判長	本定 敏夫
同	同	野替 隆博	大会副審判長	北陸支部副審判長	濱浦 健
同	同	野原 雅明	同	同	松代 勝矢
同	同	松山 健一	大会審判委員	中日本ブロック	常任審判諸氏
大会事務局長	北陸支部事務局長	吉田 昌洋			
大会副事務局長	北陸支部副事務局長	南野 弘一			
大会事務局	北陸支部副事務局長	金森 新一			
同	北陸支部副総務部長	柚木 隆			
同	北陸支部副総務部長	井出 裕史			
大会運営委員	石川ボーイズ副代表	高松 陽一			
同	石川中央ボーイズ副代表	村濱 望			
同	射水ボーイズ副代表	四柳 智理			
同	加賀ボーイズ副代表	下口 勲			
同	金沢学院大学 附属中学ボーイズ副代表	田中 頌吾			
同	金沢河北ボーイズ副代表	高松 直人			
同	小松ボーイズ副代表	岩倉 栄太郎			
同	高岡ボーイズ副代表	山田 博志			
同	となみ野ボーイズ副代表	飛渡 勝矢			
同	富山ボーイズ副代表	宮田 克義			
同	富山中部ボーイズ副代表	小島 章予			
同	白山能美ボーイズ副代表	千田 純一			



# 〈 大会 規 定 〉

1. 1チームの登録選手は、11名以上25名以内(ベンチ入りは20名以内)とする。
2. 出場選手は本大会登録締め切り日現在、連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は2024年度発行のものに限る。
4. オーダー表記選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチに入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間に合った場合は、審査の上、その時点でベンチ入りができる(マネージャーの登録証携帯の有無は問わない)。また、選手は試合終了までに間に合った場合は、審査の上その時点でベンチ入りを認める。  
なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組合せの若い番号が1塁ベンチ、後番号が3塁側ベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニホームを着用すること。マネージャーは同じ帽子を着用すること。
7. 試合開始時刻60分前に試合球場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録表(副)3部(初日2試合目・2日目)、大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。 ※「投手投球数記録表(副)」については「投手投球回数記録表(副)」を代用できる。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れない時には、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣告することができる。
10. 試合方式など
  - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を越えた場合、新しいイニングには入らない。(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する。)
  - (2) 降雨や視界不良などにより試合続行不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に試合が不可能になった場合はサスペンデッドゲームとする。
  - (3) 4回終了時(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は、4回表終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
  - (4) 予選リーグでは、7回終了時同点の場合であっても延長戦には入らない。決勝トーナメントにおいては、7回終了時、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を越えて(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施規則」参照)
11. 投球数について (2022年度投球制限ガイドラインに基づく)
  - (1) 投手は1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。  
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球禁止とする。  
3連投(連続する3日間)する場合は、1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止する。
  - (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする。
  - (3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は翌日以降に投球にカウントしない。
  - (4) 連続する2日間で80球を超えた投手並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
  - (5) ボークは投球数としない。
  - (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
  - (7) 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分配慮する事。
  - (8) ダブルハッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。  
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
12. (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれ1回の指示・伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
  - (2) 守備側の投手に関する指示、伝達が3回となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
  - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
  - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
13. 1イニングで同一の投手に対する指示、伝達が2回となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することができない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
15. 監督またはコーチが投手に指示などするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2塁走者やベースコーチなどが投手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定道具【マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ(一体型捕手用マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)】を2組備えること。
20. ユニフォーム、バット(グリップテープ)、ボール、スパイク、クラブ等は連盟指定業者のものに限る。
21. 捕手は必ずヘルメットならびに指定防具を試合、練習を問わず着用すること。
22. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
23. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
24. 光化学スモッグ発生(予報・注意報・警報)の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
25. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
26. 大会中の負傷については応急処置を行うが、それ以外の責任は持たない。

#### 参考

##### 野球規則7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チーム総得点により決する。

【注】我が国では正式試合となった後のある回の途中でコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の裏でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうちにまたは裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

#### 《タイプブレイク実施規則》

- (1) 特別守則
  - (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を越えて(いずれか早い方)、**決勝戦**は10回あるいは2時間20分を越えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
  - (ロ) 打者は、前回正規の打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
  - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の打順の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者とする。
  - (ニ) この場合の代打および代走は認められる。
- (2) タイブレイク時の、チームおよび個人記録  
チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項を留意すること。
  - (イ) 投手記録
    - ・ 規定により出塁した3走者は、自責点とはしない。
    - ・ 完全試合は認めない。
    - ・ 無安打、無得点試合は認める。
  - (ロ) 打撃成績
    - ・ 規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
    - ・ 規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

以 上

# 投手投球数制限の運用細則

令和3年7月3日  
(公財) 日本少年野球連盟

## 1. 投球数の定義

試合中に投手が捕手に向かって投げた球とする。

以下の場合、球数としてカウントしない。

①牽制球

②ボーク

※ただし走者なしの場合のボークで投球動作中にボールが手から飛び出し、ファウルラインを超えて「ボール」と宣告された投球数はカウントする。

③当該打者へ申告敬遠を行ってからの投球数

※雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

## 2. 投球数の管理

①球場責任者は、スコアラー1名、投球数管理責任者と投球数管理者の2名を配置する。

②投球数管理責任者は別紙「投球数集計表(原本)」により記録する。

③もう一人の管理者は、カウンター、得点版(代用)等の器具を用いて投球数を計測する。

④イニング終了時に投球数管理責任者、管理者とスコアラーにより投球数を一致させる。

⑤投球数が一致しない場合は、3人のうち多い方を投球数と決定、3者が一致しない場合は投球数管理責任者の投球数を記録する。

⑥確定した投球数を次のイニング開始前にアナウンサーが球場にアナウンスする。

⑦投球数はイニング毎の投球数及びその投手の総数の投球数をアナウンスする。

(例「この回の得点は〇点、投球数は〇球です。なお、△□投手の総投球数は〇球です。」)

⑧各チームはアナウンスされた投球数と違うと判断した場合は、監督がタイムをかけて球場責任者及び投球数管理責任者と協議して投球数を決定する。

## 3. 運用・管理方法について

①当日の試合終了後、勝ち上がりチームは、「投手投球数記録表」(副3枚)を作成し球場責任者に提出すること。なお、当面は「投手投球回数記録表」(副)を代用して差し支えない。

②球場責任者は提出された「投球数記録表」(副)を上記2の投球数管理のもとに間違いがないかを確認し、「投手投球数記録表」(正)を作成、署名交付する。

③球場責任者又は勝ち上がりチームが責任を持って翌日以降の大会の球場責任者に対して、「投手投球数記録表」(正)及び(副3枚)を引き継ぎ、球場責任者は「投球数集計表(原本)」を保管する。

④翌日以降の球場責任者も①～③の手順に沿って投球数管理を行い最終的に大会本部に引き継ぐ。



## 中学生投手の投球制限ガイドライン

### レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**80球**とし、連続する2日間で**120球**以内とする。  
連続する2日間で**80球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。  
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**40球**以内とし  
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**80球**以内とし、翌日投球を休めば3日目は**80球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**80球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手  
としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

### 1年生大会

1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**以内とする。  
連続する2日間で70球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。  
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**35球**以内とし  
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**投球後、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**70球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、  
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数にしない。
- ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

### 共通事項

ダブルハッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。

また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

# 小学生投手の投球制限ガイドライン

## レギュラーの部・ジュニアの部 大会

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**とする。  
3連投(連続する3日間)は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**以内とし、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

## \*小学部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない(ダブルヘッダーの登板は可/3連投は不可)  
また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。
2. 小学部に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

## \*補足・キッズの部(4年生以下)

キッズの試合での登板は以下のとおり制限する。(4年以下)

- ① 1日最大**50球**とし、2日間の連投は禁止する。(キッズは連投禁止)
- ② 打者の途中で制限数が来た場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。  
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ③ ボークは投球数にしない。
- ④ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

## ◎投球制限ガイドラインの補足説明

### (1) ③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては 80 球を超えた場合であり、また、初日 68 球投げた連投 2 日目であれば、2 日目の可能投球数 52 球を超えた最後の打者に適用される。

投手に 3 連投を予定していた場合には、初日、2 日目に 40 球を超えると 3 日目は投げることができない。初日、2 日目に於いて打者の途中であっても 40 球投げた時点で交代しなければ、3 連投できない。41 球投げれば 3 連投できない。(打者の途中での投手の交代は制限していない)

### (2) ダブルヘッダーについて

ダブルヘッダーの試合は、その日の第 1 試合、第 2 試合どちらかで投げれば翌日(前日)の試合の連続扱いとする。(片方の試合に登板しなくとも休みとはしない)

両方の試合に投げた場合は、1 日の最大投球数 80 球(中学レギュラー)で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げている場合は、3 連投の扱いとなり、1 試合 40 球を超えていると投げられない。



歴代 優勝／準優勝チーム

優 勝

準 優 勝

第1回	石川ボーイズ（北陸支部）	金沢ボーイズ（北陸支部）
第2回	小松ボーイズ（北陸支部）	白山能美ボーイズ（北陸支部）
第3回	石川ボーイズ（北陸支部）	三好東郷ボーイズ（愛知県西支部）
第4回	鯖江ボーイズ（福井県支部）	白山能美ボーイズ（北陸支部）
第5回	鯖江ボーイズ（福井県支部）	岡崎葵ボーイズ（愛知県東支部）
第6回	鯖江ボーイズ（福井県支部）	若狭ボーイズ（福井県支部）
第7回	鯖江ボーイズ（福井県支部）	若狭ボーイズ（福井県支部）
第8回	名古屋富士ボーイズ（愛知県西支部）	鯖江ボーイズ（福井県支部）
第9回	愛知豊橋ボーイズ（愛知県西支部）	鯖江ボーイズ（福井県支部）
第10回	岐阜東濃ボーイズ（岐阜県支部）	西濃ボーイズ（岐阜県支部）
第11回	コロナウィルス感染予防により中止	
第12回	天候不良・コロナウィルス感染予防により中止	
第13回	西尾ボーイズ（愛知県東支部）	名古屋緑ボーイズ（愛知県中央支部）
第14回	天候不良により準決決勝中止	

# 能登半島地震復興支援 第15回日本少年野球北國新聞社旗争奪北陸大会

順位	予選グループ A	射水			となみ野			金沢河北						
		勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	得失差
1	射水ボーイズ													
2	となみ野ボーイズ◆													
3	金沢河北ボーイズ													

日程	会場	
4/20	城南 スタジアム	
試合	1塁側	3塁側
1	射水	となみ野
2	となみ野	金沢河北
3	金沢河北	射水

※4/21の場合は片山津

順位	予選グループ B	小松			高岡			石川中央						
		勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	得失差
4	小松ボーイズ◆													
5	高岡ボーイズ													
6	石川中央ボーイズ													

日程	会場	
4/20	物見山野球場	
試合	1塁側	3塁側
1	小松	高岡
2	高岡	石川中央
3	石川中央	小松

※4/21の場合は小松大学

順位	予選グループ C	加賀			金学附中			石川						
		勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	得失差
7	加賀ボーイズ													
8	金沢学院大学附属中学ボーイズ◆													
9	石川ボーイズ													

日程	会場	
4/20	グリーンフィールドⅢ	
試合	1塁側	3塁側
1	加賀	金学附中
2	金学附中	石川
3	石川	加賀

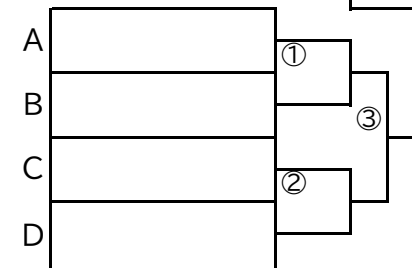
順位	予選グループ D	富山			富山中部			白山能美						
		勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	勝点	得点	失点	得失差
10	富山ボーイズ◆													
11	富山中部ボーイズ													
12	白山能美ボーイズ													

日程	会場	
4/20	富山県営新港野球場	
試合	1塁側	3塁側
1	富山	富山中部
2	富山中部	白山能美
3	白山能美	富山

※4/21の場合は立山球場

## 決勝トーナメント

日程	会場
5/6	グリーン フィールドⅢ



### ◆は会場担当チーム

- ・第一試合開始を9時とし、第二試合、第三試合は各会場の進行状況にて決定。
- ・勝ち点は、勝ち点3、引き分け1、負け0とする
- ・勝敗と得失点差でリーグ順位を付ける
- ・得失点差が同じ場合は、最多得点が多いチームを上位とする。さらに得点と同じであれば、最多失点が少ないチームを上位とする

1 予選グループA	
射水ボーイズ	
北陸支部	
代表	中井 昌人
監督	檜物 将央
コーチ	夏野 敏之
マネージャー	小林 奈津子
14	主将 法士 春道 3年
1	海老 大惺 2年
4	釣 颯馬 2年
8	大門 準紀 3年
9	濱田 絢吾 3年
12	矢野 大智 2年
13	大澤 翔 2年
15	山崎 琥太郎 2年
17	松木 大河 2年
21	森田 雄心 2年
23	鳥崎 晟 2年
24	西川 恭輔 2年
25	明道 太志 3年
27	野口 澄人 3年
30	門野 凌芽 2年
31	吉田 陽向太 2年
34	二口 力絆 3年
41	竹林 遥生 2年
51	柿谷 悠斗 2年
55	山本 健翔 3年
56	糞谷 暖 2年
57	扇山 桐真 2年
77	南 琉惺 2年
88	穴田 浩輝 3年
89	高木 陽路 3年

2 予選グループA	
とらみ野ボーイズ	
北陸支部	
代表	野原 雅明
監督	前田 満
コーチ	山崎 蒼之
マネージャー	尾田 貴史
8	主将 尾田 敦貴 3年
1	石田 尚輝 3年
2	木下 馨 1年
3	永森 昊 2年
4	高桑 颯太 3年
5	山本 真聖 3年
7	谷 亜伊斗 3年
8	井波 虎空 2年
10	湯浅 颯斗 3年
11	河合 太郎 2年
13	永森 颯 2年
14	木村 力 3年
15	山崎 琉生 3年
17	山本 遥平 2年
19	窪城 翔栄 2年
23	川合 怜 2年
26	中山 陸大 1年
27	澤田 将吾 1年
30	飛渡 亮介 3年
31	長谷川 優月 3年
33	川北 智也 3年
51	村澤 蒼空 1年
52	松田 虹輔 1年
55	徳田 元輝 2年

3 予選グループA	
金沢河北ボーイズ	
北陸支部	
代表	松山 健一
監督	山内 翔太
コーチ	奥野 晃平
マネージャー	高松 直人
14	主将 東 礼翔 3年
0	西村 大翔 2年
2	三上 颯輝 2年
6	百貴 陸 3年
10	佐藤 弘晟 2年
11	竹端 卓翔 2年
15	波多野 晴琉 2年
16	茶志川 龍星 3年
19	青木 開思 3年
21	田村 奏 2年
22	柴田 真博 2年
24	竹中 諒希 3年
25	浦崎 翼 2年
28	上野 瑛士 2年
29	福田 陸 3年
48	杉本 一樹 3年
51	徳野 裕心 2年
55	澤野 晃輔 3年
56	仙崎 廉大 2年
67	坂田 遥絆 2年
77	守作 友佑 2年

4 予選グループB	
小松ボーイズ	
北陸支部	
代表	中山 晃一
監督	高橋 宏之
コーチ	奥村 知樹
マネージャー	宮崎 太郎
17	主将 宮浦 峻 3年
2	木村 隼大 3年
3	旭 隼 2年
8	村永 大晟 3年
10	瀬川 凜 3年
14	澤田 友樹 3年
16	長谷川 蒼空 2年
20	大森 慧 3年
21	寺田 生牙 2年
23	山川 立稀 3年
25	筒井 翔太 3年
27	久保 蒼土郎 3年
41	岩倉 康大 3年
44	林 礼樹 3年
52	濱田 明秀 3年
55	東方 恋治 3年
59	高島 将史 2年
61	中村 彪雅 2年
63	阿部 彪克 2年
87	奥田 晋ノ介 2年

5 予選グループB	
高岡ボーイズ	
北陸支部	
代表	定塚 泰良
監督	小西 友之
コーチ	中山 明
マネージャー	山本 浩二
1	主将 登坂 陽太 3年
2	中 咲斗 3年
5	森 虎楽威 2年
6	私市 大俄 2年
8	林 隼聖 2年
9	石丸 虎太郎 3年
10	小林 宥雅 3年
13	秋山 倫太郎 3年
16	小林 大峨 2年
19	河原 天馬 2年
20	山田 航太郎 3年
22	金森 義典 2年
23	小西 悠仁 3年
24	工藤 拓也 3年
25	新井 煌己 3年
26	中尾 颯汰 3年
27	小林 悠馬 2年
28	大巻 貴翔 2年
29	金子 凰之助 2年
34	山本 蒼樹 3年

6 予選グループB	
石川中央ボーイズ	
北陸支部	
代表	佐々木 昭博
監督	佐野 好貞
コーチ	鷲尾 直哉
マネージャー	新野 元希
77	主将 馬淵 晴渡 3年
2	上野 昊我 3年
3	上野 琥我 2年
4	繁森 郁弥 2年
6	新保 泰成 3年
7	寺井 惺志郎 2年
8	天井 蒼祐 2年
9	村田 蓮 2年
10	清水 陽斗 2年
14	桶 喬一朗 2年
18	松原 叶夢 2年
19	卯野 悠真 2年
21	岡島 優希 2年
22	三島 健誠 2年
23	松下 右京 2年
24	岡 昌樹 2年
27	北 夢優 2年
29	下 照英 3年
33	浅香 勇仁 2年
55	中田 大貴 3年
63	大塚 彪巨 2年

7 予選グループC	
加賀ボーイズ	
北陸支部	
代表	井野上 盛光
監督	竹田 和生
コーチ	荒勢 茂一
マネージャー	島崎 貴義
19	主将 渡辺 陽唯呂 3年
0	小林 祐太 3年
1	河田 晴紀 2年
6	西本 透惟 1年
8	西野 貴哉 1年
10	中村 幸之亮 2年
11	村下 洵斗 2年
16	伴野 大誠 2年
17	橋 壮志朗 1年
18	濱田 亘惺 2年
21	辻井 漣 2年
22	金子 光輝 1年
23	美濃屋 陽輝 2年
24	角 凌牙 2年
27	竹本 憲史 2年
32	吉田 英仁 2年
66	北野 牙琥 2年
88	上出 葵斗 2年
92	辻野 真叶 2年

8 予選グループC	
金沢学院大学附属中学ボーイズ	
北陸支部	
代表	梅田 英範
監督	岩井 大
コーチ	山田 裕太
マネージャー	今井 翔大
1	坂本 橙矢 3年
2	堀内 虎太郎 3年
3	主将 久井 悠次郎 3年
4	武藤 秀河 3年
5	谷坊 琉偉 3年
6	西山 琥 3年
7	畑 佑醍 3年
8	小笠原 豊 3年
9	福田 竜万 3年
10	川村 琉晟 3年
11	竹内 佑 3年
12	安井 響 3年
13	吉野 翔 3年
14	中山 翔月 3年
15	山本 琥太郎 3年
16	池下 駈 3年
17	甲賀 刻 3年
18	和田 透真 3年
19	宮嶋 和哩 3年
20	深田 陸斗 3年
21	福田 蓮 2年
22	鍵谷 大地 2年
23	藤森 千登 2年
24	小笠原 充希 2年
25	岩崎 海里 2年



**9 予選グループC**

石川ボーイズ		
北陸支部		
代表	村山 和光	
監督	山下 靖	
コーチ	権谷 範幸	
マネージャー	田口 竜也	
7	主将 寺内 陸翔	3年
1	櫻井 陸	3年
2	中谷 凜乙	3年
3	前田 旺吉朗	3年
4	高田 晴	3年
5	長谷 悠慎	3年
6	浅田 遥斗	3年
8	土井 權	3年
9	高木 悠伍	3年
10	米田 寛太	3年
11	松本 悠翔	3年
12	飲 信太郎	3年
13	金田 宙大	3年
14	新出 葵琉	3年
15	松本 一輝	3年
16	杉本 一太	3年
17	市村 優斗	2年
19	米田 尊	2年
20	戸出 陽大	2年
23	竹田 文太	2年

**10 予選グループD**

富山ボーイズ		
北陸支部		
代表	島 隆之	
監督	小田 満	
コーチ	上山 博之	
マネージャー	道井 正佳	
6	主将 谷井 将磨	3年
1	中川 泰雅	3年
2	中嶋 祥吾	3年
3	篠田 琥太郎	3年
4	藤樫 広夢	3年
5	中川 凱斗	3年
7	舟崎 弾	3年
8	秋岡 柚稀	3年
9	柳瀬 蒼太	3年
10	坂又 海吏	2年
11	館 夏生	2年
12	萩中 陵生	2年
13	本瀬 舜	2年
14	村田 龍亮	2年
15	河村 銀大	2年
16	水上 太陽	2年

**11 予選グループD**

富山中部ボーイズ		
北陸支部		
代表	野替 隆博	
監督	河井 悟	
コーチ	中瀬 拓幸	
マネージャー	小島 章予	
55	主将 中瀬 叶大	3年
0	吉田 玲緒	2年
1	川添 涉	3年
2	金川 太一	3年
4	土反 悠聖	2年
6	深川 志龍	2年
8	五十嵐 優月	3年
11	外山 隼	3年
17	横山 力	3年
21	河井 絢音	3年
23	元文 颯真	3年
27	道音 丈	2年
28	五十嶋 晁大	2年
29	村上 想芽	2年
30	河原 蓮人	2年
31	吉岡 琉生	3年
37	三鍋 清乃	3年
39	坂口 昊	2年
41	犬嶋 天河	3年
51	池田 奏翔	3年
99	吉岡 真洸	2年

**12 予選グループD**

白山能美ボーイズ		
北陸支部		
代表	中町 光教	
監督	金田 肇	
コーチ	前田 直樹	
マネージャー	山崎 裕章	
24	主将 西村 優哉	3年
2	亀田 也登	2年
5	堤 理貴	3年
7	有馬 磨愛	3年
11	宮本 晃牙	2年
12	千田 賢輔	3年
15	北 和真	3年
16	南 翔太	3年
18	杉永 結海	2年
19	山崎 翔	3年
22	餘助 輝	3年
23	西沢 颯太	2年
25	奥村 星哉	2年
33	増永 隼士	2年
34	山下 透真	2年
35	下里 聖輝	2年
41	稲場 健留	2年
42	大森 悠生	2年
49	江口 心球	3年
63	亀田 閏己	2年

能登半島地震復興支援

# 第15回北國新聞社旗争奪北陸大会

考  
動  
野  
球



公益財団法人  
日本少年野球連盟  
北陸支部



## 【石川ボーイズ】

代表：村山 和光  
副代表：山口 宏人  
副代表：山田 泰誠  
副代表：高松 陽一  
副代表：土田 剛  
副代表：前田 毅  
副代表：江藤 望  
副代表：関谷 康博

監督：山下 靖  
ヘッドコーチ：加藤 直樹  
マネージャー：田口 竜也  
コーチ：坂下 昌  
コーチ：上田 弘  
コーチ：権谷 範幸  
コーチ：高松 己希  
コーチ：北橋 和浩  
コーチ：石田 陸斗  
コーチ：関谷 龍世

主将 7：寺内 陸翔  
1：櫻井 陸  
2：中谷 凜乙  
3：前田旺吉朗  
4：高田 晴  
5：長谷 悠慎  
6：浅田 遥斗  
8：土井 權  
9：高木 悠伍  
10：米田 寛太  
11：松本 悠翔  
12：飲 信太朗  
13：金田 宙大  
14：新出 葵琉  
15：松本 一輝  
16：杉本 一太  
17：市村 優斗  
18：井上 晃希  
19：米田 尊

20：戸出 陽大  
21：喜多 隼大  
22：山崎 和真  
23：竹田 文太  
24：丸井 耀翔  
25：窪田 龍祐  
26：木井 琉仁  
27：南 堅心  
28：森田 悠翔  
29：上田 龍星  
30：辻 昂賢  
31：松田 颯  
32：空本 孝太郎  
33：櫻井 晴空  
34：入谷 隼  
35：作田 颯  
36：天田 晴一朗  
37：橋本 結和  
38：池田 宗誠

39：刀祢 汐莉  
40：田井中 輝虎  
41：能口 幌汰  
42：織田 龍聖  
43：梅田 陸都  
44：山本 侅聖  
45：宮島 夢羽  
46：大畠 吉翔  
47：小原 蒼真  
48：津田 春真  
49：倉繁 侑也  
51：境 詩太  
52：寺岡 倫太朗  
53：治村 幸太  
54：坂倉 汰知  
55：北方 望夢





能登半島地震復興支援

第15回北國新聞社旗争奪北陸大会

石川中央ボーイズ

**Chuo**  
ISHIKAWA



能登半島地震におきまして被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。被災地の皆様が安全を取り戻し、一日も早い復興を心からお祈りいたします。



能登半島地震復興支援  
第15回少年野球 北國新聞社旗争奪北陸大会



# 射水ボーイズ



第8期生		第9期生		第10期生	
8	大門 準紀	1	海老 大惺	2	竹内 悠将
9	濱田 絢吾	12	矢野 太智	5	新井 瑛心
14	法土 春道	13	大澤 翔	6	島田 隼人
25	明道 太志	15	山寄 琥太郎	7	片境 徳老
27	野口 澄人	17	松木 大河	11	織田 琉亜
34	二口 力絆	21	森田 雄心	16	田中 大貴
55	山本 健翔	23	鳥崎 晟	18	石黒 煌來
88	穴田 浩暉	24	西川 恭輔	22	丸池 一步
89	高木 陽路	30	門野 凌芽	99	牧野 海誠
		31	吉田 陽向太		
		41	竹林 遥生		
		51	柿谷 悠人		
		56	糝谷 暖		
		57	扇山 桐真		
		77	南 琉惺		





能登半島地震復興支援

第15回日本少年野球北國新聞社旗争奪北陸大会



# 加賀ボーイズ

代表 井野上 盛光

監督 竹田 和生

コーチ 荒勢 茂一 島崎 貴義 主税 仁也 柴山 大輝 角 柊冴

21期生 主将 19 渡辺 陽唯呂 0 小林 祐太

22期生 1 河田 晴紀 10 中村 幸之亮 11 坂下 洵斗 16 伴野 大誠  
18 濱田 亘惺 21 辻井 漣 23 美濃屋 陽輝 24 角 凌冴  
27 竹本 憲史 32 吉田 英仁 66 北野 牙琥 88 上出 葵斗  
92 辻野 真叶

23期生 6 西本 透惟 8 西野 貴哉 15 西野 巧人 17 橋 壮志朗  
22 金子 光輝 25 山崎 智哉 33 長谷部 春陽 34 中嶋 一翔  
51 町出 翔希 55 中村 健琉 99 須藤 快王





# 金沢河北ボーイズ



7期生 3年生	1.長崎 正宗	6.百貫 陸	14.東 礼翔
	16.茶志川 龍星	19.青木 開思	24.竹中 諒希
	29.福田 陸	48.杉本 一樹	55.澤野 晃輔
8期生 2年生	0.西村 大翔	2.三上 颯輝	10.佐藤 弘晟
	11.竹端 卓翔	15.波多野 晴琉	21.田村 奏
	22.柴田 真博	25.浦崎 翼	28.上野 瑛土
	51.徳野 裕心	56.仙崎 廉大	67.坂田 遥絆
	77.守作 友佑		
9期生 1年生	7.倉 大遥	8.吉田 皓亮	9.吉村 斗吾
	12.金谷 柳央	17.肥田 恭兵	18.河村 京弥
	30.藤崎 広大	33.田中 倫大朗	34.寺嶋 優
	37.諏訪 健心	44.石田 旺志朗	47.東田 快翔
	52.中村 奎支	腰守 嶺	



能登半島地震復興支援

第15回日本少年野球 北國新聞社旗争奪北陸大会



# 金沢学院大学附属 中学ボーイズ



## （1期生）

池下 駈	深田陸斗
小笠原豊	福田竜万
川村琉晟	堀内虎太郎
甲賀 刻	宮嶋和哩
坂本橙矢	武藤秀河
竹内 佑	安井 響
谷坊琉偉	山本琥太郎
中山翔月	吉野 翔
西山 琥	和田透真
畑 佑醍	
久井悠次郎	

## （2期生）

天井新太
岩崎海里
小笠原充希
鍵谷大地
小関秋月
清水虎之介
長松琥珀
中出裕都
東優一郎
福田 蓮
普久原佑有
藤森千登

## （3期生）

相内凱登	塚田寛太郎
大場吉晴	土橋祐大郎
金子 新	西脇彪真
小松佑都	林 大生
佐々木蒼琉	南出透哉
新谷佳斗	山田潤生
高井駿希	山田勝也
高瀬逸平	
瀧田駿介	
竹田龍ノ介	
谷山愛斗	



能登半島地震復興支援  
第15回北國新聞社旗争奪北陸大会



# 小松ボーイズ



26期生(3年生)13名

背番号	選手名
2	木村 隼大
8	村永 大晟
10	瀬川 凜
14	澤田 友樹
17	宮浦 峻
20	大森 慧
23	山川 立稀
25	筒井 翔太
27	久保 蒼士郎
41	岩倉 康大
44	林 礼樹
52	濱田 明秀
55	東方 恋治

27期生(2年生)17名

背番号	選手名
3	旭 直樹
12	黍根 駆琉
13	久保 瑛慎
16	長谷川 蒼空
21	寺田 生牙
26	山下 丈一郎
35	大門 珂翔
42	林 丈太郎
51	梶谷 愁弥
59	高畠 将史
61	中村 彪雅
63	阿部 彪克
67	福村 晟琉
87	奥田 晋ノ介
88	綱村 宗馬
89	角井 優斗
99	堀口 元気

28期生(1年生)17名

背番号	選手名
1	鹿田 球矢
4	上田 昊雅
5	杉森 琥羽
6	岩倉 恵吾
7	沖谷 駿樹
9	西井 希輝
11	林 想太
15	豊村 大空
18	寺林 成剛
19	大間 翔太
22	角谷 将吾
28	重田 竜毅
33	北 晴太
34	川崎 龍空
39	竹原 怜生
66	川西 望愛
77	竹松 錬

スタッフ

役職	氏名
代表	中山 晃一
統括副代表	岩倉 栄太郎
副代表	宮浦 勝
監督	高橋 宏之
ヘッドコーチ	奥村 知樹
コーチ	橋 和哉
コーチ	田中 健
コーチ	寺田 祐喜
コーチ	宮崎 太郎
コーチ	坂井 浩之
コーチ	梶谷 武洋
コーチ	西井 裕兵

能登半島地震復興支援

第15回北國新聞社旗争奪北陸大会

# ↑ 高岡ボーイズ



## 2 1 期生

- 1 登坂 陽太
- 2 中 咲斗
- 9 石丸 虎太郎
- 10 小林 宥雅
- 13 秋山 倫太郎
- 20 山田 航太郎
- 23 小西 悠仁
- 24 工藤 拓也
- 25 新井 煌己
- 26 中尾 颯汰
- 34 山本 蒼樹

## 2 2 期生

- 5 森 虎楽威
- 6 私市 大俄
- 8 林 隼聖
- 16 小林 大峨
- 19 河原 天馬
- 22 金森 義典
- 27 小林 悠馬
- 28 大巻 貴翔
- 29 金子 凰之助

## 2 3 期生

- 3 大門 保喬
- 4 傳田 泰志
- 7 橘 颯人
- 11 筏井 悠陽
- 12 奥山 悠海
- 14 城光寺 栄人
- 15 吉田 廉太郎
- 17 藤田 晴希
- 18 吉村 裕樹
- 21 二上 星佑
- 30 片境 柊賀
- 31 佐藤 賢成
- 33 吉田 蓮翔
- 41 山田 瑛士郎
- 44 土谷 優仁
- 47 窪田 龍
- 51 中村 有志
- 55 石丸 力輝

この度の能登半島地震にて被災された皆様に、チーム一同、心よりお見舞い申し上げます。





能登半島地震復興支援  
第15回北國新聞社旗争奪北陸大会

一球道心  
となみ野ボーイズ



# STAFF

代表	野原 雅明
副代表	飛渡 勝矢 尾田 貴史
監督	前田 満
コーチ	山崎 誉之 村井 実 小山 智志 永森 翔 中山 大地





能登半島地震復興支援  
第15回日本少年野球北國新聞社旗争奪北陸大会

# 富山ボーイズ



代表 島 隆之

監督 上山 博之

3年生 谷井 将磨 藤樫 広夢 中嶋 祥吾 秋岡 柚稀 篠田 琥太郎  
中川 凱斗 中川 泰雅 舟崎 弾 柳瀬 蒼太

2年生 河村 銀大 坂又 海吏 舘 夏生 萩中 陵生 水上 太陽  
村田 龍亮 本瀬 舜

1年生 青木 煌芽 浅生 将希 池畑 光 高尾 大斗 中川 達斗  
浜田 順也 松嶋 紘士 村田 知優



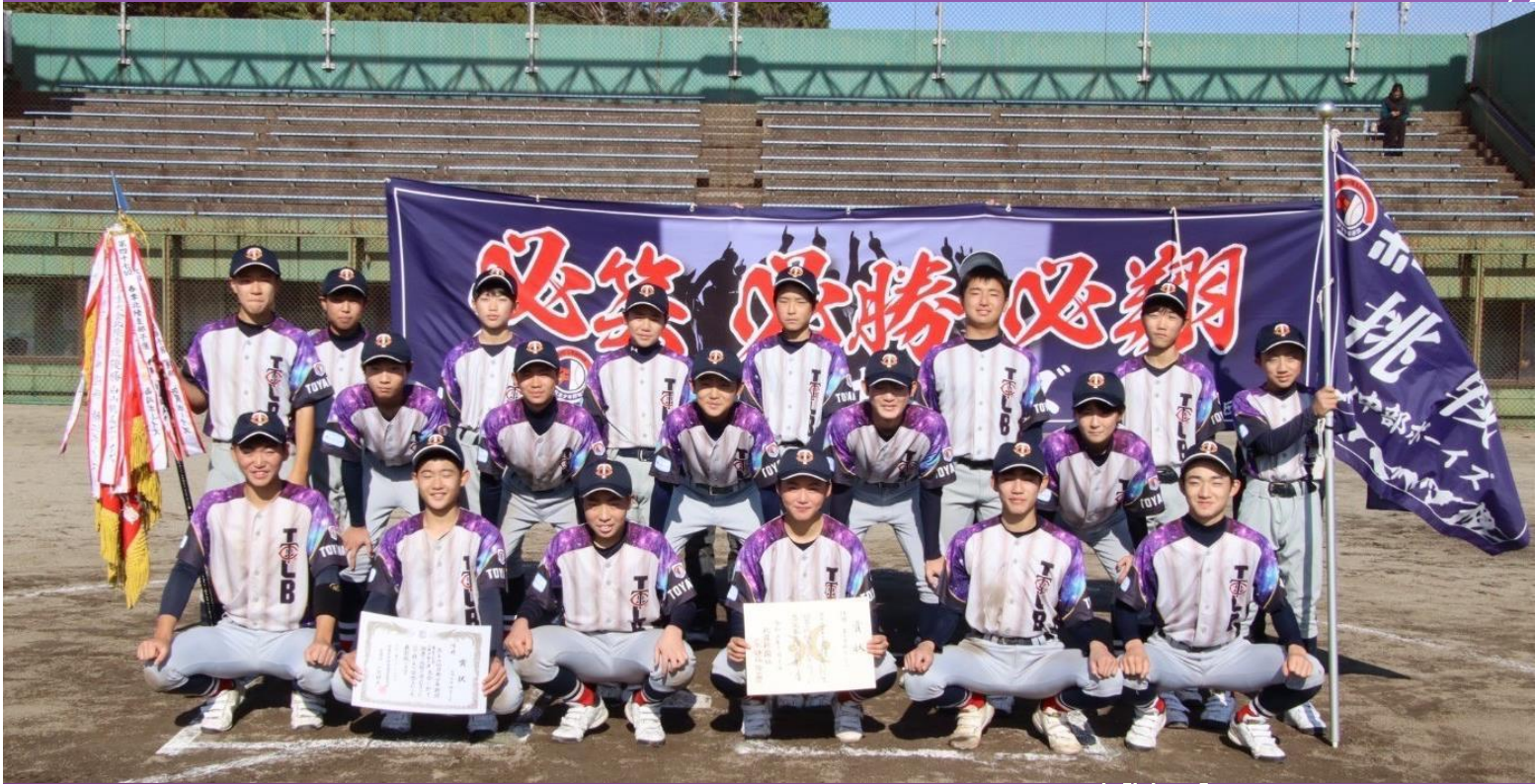




能登半島地震復興支援

第15回日本少年野球北國新聞社旗争奪北陸大会

# 富山中部ボーイズ



代表 野替隆博 監督 河井 悟

コーチ 中瀬 拓幸 柴田 秀和 杉村 毅 窪田 賢人

五十嵐優月  
池田 奏翔  
犬嶋 天河  
金川 太一  
河井 絢音  
川添 涉  
元文 颯真  
外山 隼  
中瀬 叶大  
三鍋 清乃  
横山 力  
吉岡 琉生

五十嶋昉大  
河原 蓮人  
坂口 昊  
土反 悠聖  
深川 志龍  
道音 文  
村上 想芽  
吉岡 真洸  
吉田 玲緒

井城 比呂  
小倉登貴也  
熊本 結斗  
志賀 瑛太  
立野 楓芽  
田辺 裕基  
戸田 陽翔  
萩野 詠介  
平田 聖七  
水原 龍生  
村崎 丈太  
和田 大和







# Hakusan Nomi Boys

16・17・18th  
2024.3.16 in Monomiya



## 16期生

- |     |    |    |
|-----|----|----|
| 主24 | 西村 | 優哉 |
| 5   | 堤  | 理貴 |
| 7   | 有馬 | 磨愛 |
| 12  | 千田 | 賢輔 |
| 15  | 北  | 和真 |
| 16  | 南  | 翔太 |
| 19  | 山崎 | 翔  |
| 22  | 餘助 | 輝  |
| 49  | 江口 | 心球 |
- (9名)

## 17期生

- |    |    |     |    |    |       |
|----|----|-----|----|----|-------|
| 1  | 青山 | 旺志郎 | 31 | 松村 | 颯真    |
| 2  | 亀田 | 也登  | 33 | 増永 | 隼士    |
| 6  | 毛利 | 漣佑  | 34 | 山下 | 透真    |
| 11 | 宮本 | 晃冴  | 35 | 下里 | 聖輝    |
| 13 | 横内 | 一心  | 36 | 石島 | 昇一郎   |
| 17 | 有馬 | 周史  | 37 | 松田 | 侑月    |
| 18 | 杉永 | 結海  | 41 | 稲場 | 健留    |
| 21 | 藤野 | 翔   | 42 | 大森 | 悠生    |
| 23 | 西沢 | 颯太  | 51 | 山口 | 徹真    |
| 25 | 奥村 | 星哉  | 63 | 亀田 | 閏己    |
| 29 | 石黒 | 史恩  |    |    | (21名) |

## 18期生

- |    |    |    |
|----|----|----|
| 3  | 竹内 | 靖悟 |
| 4  | 梶  | 蓮樹 |
| 8  | 橘  | 嵩太 |
| 28 | 橋本 | 暁  |
| 32 | 山内 | 海周 |
| 55 | 西  | 蒼太 |
- (6名)

# Hakusan Nomi

HP



hakusannomi-boys.jimdofree.com

Instagram



# 御礼

能登半島地震発生の後、他支部の方々より義援金をお預かりいたしました。また、本大会開催にて、選手たちの夢を育てる趣旨に御協賛を賜り誠にありがとうございました。御愛情に心から感謝し、御礼申し上げます。

## 北陸支部役員

日本少年野球本部理事・北陸担当理事

	伊藤 裕章		
支部長	山西 祥夫	支部理事	梅田 英範
支部長代理	村山 和光	同	佐々木 昭博
副支部長・総務部長	井野上 盛光	同	島 隆之
副支部長・会計理事	定塚 泰良	同	中井 昌人
総務部副部長	柚木 隆	同	中町 光教
総務部副部長	井出 裕史	同	中山 晃一
事務局長	吉田 昌洋	同	野替 隆博
副事務局長	金森 新一	同	野原 雅明
副事務局長	南野 弘一	同	松山 健一
支部審判長	本定 敏夫		



公益財団法人  
日本少年野球連盟



北國新聞  
富山新聞